

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **スポーツ少年団補助金**

[0504]

| | | | | | |
|----|-------|--------|------|----------|------|
| 部名 | 教育部 | 事業開始年度 | - 年度 | 実施計画事業認定 | 非対象 |
| 課名 | 生涯学習課 | 事業終了年度 | - 年度 | 会計区分 | 一般会計 |

| 事務事業の目的と成果 | |
|------------|---|
| 対象 | <p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>江別市スポーツ少年団</p> |
| 意図 | <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>・スポーツを行う青少年を増やす。 青少年スポーツを指導する有資格者を増やす。</p> |
| 手段 | <p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>スポーツ少年団事業に対して補助を行っている。 ・単位団助成 45団 ・指導者養成 研修 ・交流事業・リーダー養成 ・体力テスト ・少年大会等参加 種目ごとの大会開催 (11種目)</p> |

| 事業量・コスト指標の推移 | | | | | | |
|----------------|---------------------|----|--------|--------|--------|--------|
| 区分 | | 単位 | 21年度実績 | 22年度実績 | 23年度実績 | 24年度当初 |
| 対象指標1 | 登録団数 | 団 | 44 | 45 | 45 | 45 |
| 対象指標2 | 登録団員数 | 人 | 1,382 | 1,308 | 1,256 | 1,256 |
| 活動指標1 | 補助金額 | 千円 | 2,222 | 2,200 | 2,150 | 2,100 |
| 活動指標2 | | | | | | |
| 成果指標1 | 小中学生に対するスポーツ少年団員の割合 | % | 12.9 | 12.6 | 12.5 | 12.8 |
| 成果指標2 | 認定指導員の数 | 人 | 128 | 137 | 134 | 134 |
| 単位コスト指標 | | | | | | |
| 事業費計 (A) | | 千円 | 2,222 | 2,200 | 2,150 | 2,100 |
| 正職員人件費 (B) | | 千円 | 830 | 806 | 803 | 809 |
| 総事業費 (A) + (B) | | 千円 | 3,052 | 3,006 | 2,953 | 2,909 |

| 費用内訳 | |
|------|---------------------|
| 23年度 | 負担金 補助及び交付金 2,150千円 |

事業を取り巻く環境変化

| | | | |
|--------|--|-------------|--|
| 事業開始背景 | | 事業を取り巻く環境変化 | |
|--------|--|-------------|--|

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

少年団事業を通して、青少年がスポーツ活動に親しむことは、青少年の心身の健全な育成につながることから、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

少年団の活動によって、青少年がスポーツに触れる機会が増しており、スポーツ・レクリエーション機会の充実に貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

少子化が進む中、登録団員数は一定の人数を保持しており、青少年のがスポーツに触れる機会を確保している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

指導者の養成と活動場所の確保という条件を整えば、少年団員の増が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

少年団による各種事業は適切に運営されており、青少年のスポーツ振興の観点から削減は難しい。